

昔、竹を取りに行つたおじいさんが、竹の中から大  
変かわいい女の子をみつけ、かぐや姫と名付けて大  
切に育てました。

かぐや姫はおじいさんとおばあさんの夫婦に大切に  
育てられました。

大きくなつたかぐや姫は、多くの若者から「結婚し  
てほしい」と言われましたが、実は、かぐや姫は月  
で暮らす人でした。

誰とも結婚することなく、ある満月の夜、かぐや姫  
は地球を離れ、月に帰りました。

かぐや姫ひめはいつまでも歳としを取りませとん。

おじいさんとおばあさんは亡なくなってしまいました  
が、かぐや姫ひめは二人ふたりのお墓参りはかまいのために、年ねんに一度いちど  
だけ地球ちきゅうに来てきました。

②おじいさんがかぐや姫を見つけた絵の裏

そのうち、地球には、工場がたちはじめ、自動車  
走はしるようになりました。

③かぐや姫がお墓参りをする絵の裏

そんなある日、かぐや姫がお墓参りに地球に行こう  
とすると、ひどい煙で、地面が見えなくなっています  
した。

かぐや姫は思い切つて煙の中に飛び込んでみまし  
たが、あまりの息苦しさ<sup>いきぐるみ</sup>と臭い<sup>におい</sup>にたまらず、月に  
引き返してしまいました。

⑤地球に行こうとするかぐや姫の絵の裏

『年に一度のお墓参り。地球に行かなくちゃ。  
かぐや姫は、もう一度、煙の中を進みました。  
ところが、今度は煙の中で迷ってしまい、まちがっ  
て、海に落ちてしまいました。』

⑥煙の中に飛び込むかぐや姫の絵の裏

かぐや姫は、ずぶぬれのまま、月に帰ることもでき  
ません。

泣いているかぐや姫を見て、町の人たちは、「かぐ  
や姫が帰る間だけでも、空をきれいにしよう」と動  
き出しました。

⑦かぐや姫が海に落ちる絵の裏

『車さん、今日だけは、なるべく走るの、やめてほしいな』

『工場のえんとつさん、今日だけは、けむり出すの、がまんして』

⑧びしょ濡れのかぐや姫とまちの人たちの絵の裏



その日の夜、町からはいつもよりきれいにお月様が  
見えました。

月に帰るかぐや姫に手を振りながら、町の人は思い  
ました。

『かぐや姫が、毎年、無事に来てくれればいいな』。

『毎日、こんな月夜が、つづけばいいな』。

おしまい。

今日はみんなの大好きな紙芝居を読みます。

「かぐや姫のあと」といっしょお話です。

みんな、かぐや姫のお話は知っているかな？

まずは、かぐや姫のお話を振り返りましょう。